

令和3年度西予市市政懇談会会議要録

開催日時：令和3年12月1日(水) 19:00~20:41
開催場所：石城公民館
出席者 参加者 37人 市側 9人 市長 管家一夫、副市長 宗正弘、教育長 松川伸二 総務部長 山住哲司、政策企画部長 下澤広幸 生活福祉部長(兼)福祉事務所長 藤井兼人、 産業部長 酒井信也、建設部長 三瀬計浩、教育部長 宇都宮裕 事務局他 10人
議事内容(要旨) 1 開会 2 市長あいさつ 3 地域づくり活動センターに関する説明 (1) ①地域づくり活動センター推進計画(案)について(まちづくり推進課長説明) ②公民館分館について(生涯学習課長説明) (2) 組織体制(案)について(総務部長説明) 4 質疑応答 (意見等) 説明資料より、組織体制案が説明していただいたが、各地域によって活動実施後に温度差がでるのではないか気になる。 人口も地域任用職員のレベルが大事で職員の研修、情報交換があったほうが良いと思う。人を育てることがすごく大事になってくる。 (回答 総務部長) 組織体制としては、本庁はまちづくり推進課にセンターの所管が移り、支所は支所地域生活課に所管されることになるが、活動の相違が出てくる可能性もあると思うが、必要に応じて本庁の推進室が主導をとって支援を行い、それぞれの地域が自ら生き生きとするような取り組みを盛り上げられるように市としては全面的に支援させていただきたいと思うのでご理解をいただきたい。 (回答 政策企画部長) 今年度、地域人材育成セミナーを行っており、そこに公民館主事や地域おこし協力隊だけでなく外部の方も参加いただき、セミナーを開催している。来年度以降地域任用職員の情報交換や現在の試験運用の取り組みの情報交換など積極的に行ってもらいたいとの意見もあり、市の方で情報収集し各地区の検

討に役立てていただきたいと考えている。

来年度以降、情報交換の場を市としてしっかり整備して進めていけるようにして参りたいので、ご協力いただければと思う。

(意見等)

地域任用職員の育成について、以前教育訓練システムを構築をお願いしたが、研修会というのは市が主催で行うのか、教えていただきたい。

(回答 まちづくり推進課長)

今年度から地域人材セミナーを行っており、令和4年度も引き続き行う予定なので、是非参加願いたい。

(意見等)

それは西予市のどのシステムでやっているのか。

(回答 市長)

地域人材セミナーは地域づくりにかかわっていただく方を育てるという一つの目標の中で行っており、総合的なものを地域づくりという観点の中で、専任の講師を招へいして行っている状態。

(意見等)

それは何に基づいて行っているのか。

(回答 市長)

今はとにかく人を育てる、そういう地域で活動できる人を育てるという目標の中で行っている。

(意見等)

インターナショナルスタンダードに合わせたほうが一般市民から見てもわかりやすいと思う。

(回答 市長)

その事も含めて考えてみたいと思う。検討してみる。

(意見等)

地域任用職員のセンターでの立ち位置がちょっとわかりにくい。

基礎型交付金に上乗せの300万円の使い道をチェックする組織とか機能がどうなっていくのか、それが見えにくい気がする。

営利活動が可能となるが、仮に損失が出た場合に誰が責任を取ってどう補填されるのか疑問に思う。

地域任用職員の身分・組織の中での立ち位置・仕事の進め方が一番大きな疑問だと思う。

既に議事録が公開されており、お金の使い道とかについて回答をされているようなので紹介してもらいたい。

(回答 政策企画部長)

地域任用職員の身分は、地域づくり組織で雇用いただく形となり、地域づくり組織のスタッフという身分となる。センター内の立ち位置は、センター内で執務をとっていただき、センター職員と連携していろんな仕事をしてい

ただくという形となる。

交付金の使い道のチェックは、現在も実績報告を市に提出していただいているので、今後もそういう流れになると考えている。

営利活動の損失については、地域づくり組織の事業として営利活動ができることを想定していたので、損失が発生した場合、地域づくり組織が一時的には責任を負っていただくこととなる。

地域任用職員について、基本は地域づくり組織の長が雇用主となり、内部的な話で見れば、雇用主の監督責任等が発生するので、身分としては、そちらの指揮下に入ると考えている。

(回答 まちづくり推進課長)

全部ではないが、交付金の監査、先行して試験運用している地区の事例の紹介などの質問があった。

その他でも、地位任用職員をどのように雇用するか、見つからない場合とどうしたらよいかなどの質問があった。

(意見等)

総務系のことは、市の担当業務のところがモデル的なことを示してもらいたい。

(回答 まちづくり推進課長)

センターの設置に向けて、地域任用職員雇用に対するマニュアルといったものを作成して、各地域にお配りしてご検討いただくようにも考えている。

(意見等)

平成30年7月豪雨で土石流が発生した福田川の改修についてどうなっているか。

(回答 建設部長)

県営の治山工事業が進んでおり、福田川の改修事業の計画について、現在建設課で事業化に向け進めている状況である。今後は測量・設計の作業から着手し、地元の方のご協力をいただいで進めていきたいと思っているのでよろしくお願ひしたい。

(回答 市長)

福田川の改修について、ちょっと時間はかかると思うが、測量をして事業化に持って行こうと思っており、市としてもその点約束させていただきたいと思う。長い間ご不便をかけ申し訳ない。

(意見等)

婦人会、老人会、壮年会等の自主管理グループの補助金がカットされて久しいが、活動費についてセンター化になったときは、地域づくり交付金から捻出するということか。

(回答 市長)

市から各種団体への補助金は、市連単位で支出しているが、各地区までは支出していない。また、昨年から財政の関係で各団体3年間にわたって5%

ずつカットさせていただき取り組みをした。基礎型交付金等の活用も検討いただけたらという考えなのでよろしくお願ひしたい。

(回答 まちづくり推進課長)

基礎型交付金の使い方はいろいろあり、中には婦人部への活動費等に支出しているところもある。石城地区にあった組織の在り方の見直しなどしていただいて、基礎型交付金の配布についても検討いただけたらと思う。

(意見等)

J R 石城駅の石城第 3 踏切の事業が始まっているが、今後の予定や状況についてお知らせいただけるとありがたい。

10 月の中旬から踏切が全面通行止めになり、歩行者も含めて通れなくなった。小学校の通学路にもなっており迂回しなければならぬ状況で負担である。また、照明も 1 個だけで暗くう回路を車が通ると歩行者が危険な状態にあり、あることあるため何か考慮できる策はないか。

自治池の改修について、地元説明会を早急に行っていただき、進めていただく方向性でやっていただけたらと思う。

(産業部長)

地中池の関係は、地区の代表者と 2 ～ 3 か月前 1 回話をした。事業が令和 7 ～ 8 年くらいということなので、まだ、具体的な説明はしていないが、こういうような形で行おうと思うがどうかといった投げかけをしている。今後頻繁に説明会をするし、要望を聞かせていただき事業に取り掛かっていると考えている。

(建設部長)

石城第 3 踏切の工事について、現在市道の工事は終わり、市が J R に委託し工事を行っている状況となっている。児童生徒の皆さまには大変ご不便をかけて迂回路を通っていただいている。工事の時間帯等について J R に確認し、きちんと地元の方にお伝えできるよう進めて参りたいと思うので、ご理解をいただけたらと思う。

5 閉会のあいさつ

副市長

6 閉会